

北海道岩見沢農業高等学校 創立110周年記念式典 来賓名簿

衆議院議員	稲 津 久 様
衆議院議員	渡 邊 孝 一 様
北海道教育委員会委員	中 村 隆 信 様
北海道議会議員	村 木 中 様
北海道議会議員	中 川 浩 利 様
北海道議会議員	白 川 祥 二 様
北海道教育庁学校教育局長	北 村 善 春 様
北海道教育庁空知教育局長	小 山 茂 樹 様
岩見沢市長	松 野 哲 様
岩見沢市議会議長	井 幡 修 一 様
いわみざわ農業協同組合代表理事組合長	村 木 秀 雄 様
北海道農業協同組合中央会岩見沢支所長	伊 藤 謙 二 様
北海土地改良区理事長	尾 田 則 幸 様
北海道高等学校長協会空知支部長	若 林 利 行 様
元校長	角 田 順 三 様
元校長	小 島 忠 和 様
前校長	西 田 丈 夫 様

北海道岩見沢農業高等学校 創立110周年記念事業協賛会役員名簿

会長	同窓会長	安 田 恭 一
副会長・事業部長	同窓会副会長	大 塚 鉄 男
副会長・総務部部长	同窓会副会長	瀬 能 昇
副会長・事業部次長	同窓会岩見沢支部長	吉 田 盛 一
副会長・総務部次長	同窓会岩見沢副支部長	高 松 孝 行
副会長・総務部次長	同窓会岩見沢副支部長	渡 辺 博
副会長・事業部次長	同窓会岩見沢副支部長	村 上 薫
副会長・事務局次長	農夕OB会長	藤 井 忠 一
副会長・総務部次長	農夕OB会副会長	森 田 和 之
副会長・事業部次長	農夕OB会副会長	渡 邊 辰 一
副会長・事業部次長	農夕OB会副会長	岩 瀬 孝 雄
副会長・事務局次長	P T A会長	白 木 輝 彦
副会長・事業部次長	P T A副会長	宮 森 薫
副会長・総務部次長	P T A副会長	大 友 将 史
監査	同窓会監事	吉 田 義 夫
監査	同窓会監事	中 田 高 広
監査	P T A監事	朝 山 孝 雄
監査	P T A監事	倉 内 知津美
会計	同窓会監事	藤 田 孝 典
会計	P T A監事	駒 谷 信 浩
事務局長	同窓会幹事長	北 口 茂 雄
事務局次長	同窓会副幹事長	松 永 正 孝
総務部次長	同窓会副幹事長	崎 田 俊 範
事業部次長	同窓会副幹事長	吉 田 勝 弘
事業部次長	同窓会事務局長	松 田 直 也

祝

北海道岩見沢農業高等学校 創立110周年記念式典・祝賀会

期 日 平成29年6月25日(日)
場 所 まなみーる岩見沢市民会館・文化センター(式典)
岩見沢平安閣(祝賀会)



北海道岩見沢農業高等学校
創立110周年記念事業協賛会

記念式典次第

期 日 平成29年6月25日(日) 午前10時00分より

会 場 岩見沢市民会館・文化センター

「まなみーる」(岩見沢市9条西4丁目1-1)

司 会 松 田 和 枝

- 1 開 式 の 辞 北海道岩見沢農業高等学校教頭 清 澤 城 次
- 2 国 歌 斉 唱
- 3 物 故 者 黙 祷
- 4 式 辞 北海道岩見沢農業高等学校長 畠 山 佳 幸
- 5 協賛会長挨拶 創立110周年記念事業協賛会長 安 田 恭 一
- 6 祝 辞 衆議院議員 稻 津 久 様
衆議院議員 渡 邊 孝 一 様
北海道教育委員会委員 中 村 隆 信 様
- 7 祝文・祝電披露
- 8 来 賓 紹 介 北海道岩見沢農業高等学校長 畠 山 佳 幸
- 9 生徒代表挨拶 生徒会長(農業土木工学科3年) 水 谷 亜斗夢
- 10 110年を振り返る
- 11 校 歌 斉 唱
- 12 閉 式 の 辞 北海道岩見沢農業高等学校教頭 赤 穂 悦 生

記念祝賀会次第

期 日 平成29年6月25日(日) 午後1時00分より
会 場 岩見沢平安閣(岩見沢市5条東2丁目)

司 会 松 田 和 枝

- | | | | |
|----|-----------|--------------------|-----------|
| 1 | 開 会 の 辞 | 創立 110 周年記念事業協賛会 | 瀬 能 昇 |
| 2 | 協 賛 会 挨 拶 | 創立 110 周年記念事業協賛会 | 白 木 輝 彦 |
| 3 | 来 賓 挨 拶 | 岩見沢市長 | 松 野 哲 様 |
| | | 北海道議会議員 | 村 木 中 様 |
| | | 北海道議会議員 | 中 川 浩 利 様 |
| 4 | 来 賓 紹 介 | 創立 110 周年記念事業協賛会長 | 安 田 恭 一 |
| 5 | 祝 杯 | 岩見沢市議会議長 | 井 幡 修 一 様 |
| 6 | 祝 宴 | | |
| 7 | 余 興 | | |
| 8 | 校 歌 斉 唱 | | |
| 9 | 乾 杯 | いわみざわ農業協同組合代表理事組合長 | 村 木 秀 雄 様 |
| 10 | 閉 会 の 辞 | 創立 110 周年記念事業協賛会 | 大 塚 鉄 男 |

校歌

一 有明月の影淡く

雲井の端に落つる時

見よ見よ見よや見よや見よ

希望の光てり初めぬ

二

金絲銀絲の繡ぬいの雲

水や空知の野に映はゆる

見よ見よ見よや見よや見よ

フィバスの神の御姿を

三

御鉾みほこぞ拓ひらく常闇とこやみを

鋤すきと鋤くわとで耕すきかへす

聞け聞け聞けや聞けや聞け

吾等われらは強くき国民たみぞ

四

励むろめいそしめ諸共ともに

国の真柱いざ立てん

見よ見よ見よや見よや見よ

希望の光てりそめぬ

作詞 出口 豊 泰

(獣医科一期生)

作曲 梁 田 貞

創立110周年記念誌

そらち野



北海道岩見沢農業高等学校



▲校訓



▲校旗

校歌

作詞 出口 豊泰
(獣医科一期生)
作曲 梁 田 貞

一 有明月の影淡く

雲井の端に落つる時

見よ見よ見よや見よや見よ

希望の光てり初めぬ

二 金絲銀絲の繡の雲

水や空知の野に映ゆる

見よ見よ見よや見よや見よ

ファイバスの神の御姿を

三 御鉾ぞ拓く常闇を

鋤と鋤とで耕さかへす

聞け聞け聞けや聞けや聞け

吾等は強き国民ぞ

四 励めいそしめ諸共に

国の真柱いざ立てん

見よ見よ見よや見よや見よ

希望の光てりそめぬ

目 次

校訓・校旗・校歌

目次

岩農の移り変わり(全景).....	1
校長挨拶.....	2
協賛会長挨拶.....	3
PTA会長挨拶.....	4
生徒会長挨拶.....	5
学校沿革史.....	6
本校教育活動の現況	
農業科学科.....	7
畜産科学科.....	8
食品科学科.....	9
生活科学科.....	10
農業土木工学科.....	11
環境造園科.....	12
森林科学科.....	13
SSHスーパーサイエンススクール.....	14
生徒会.....	16
農業クラブ.....	18
部活動.....	20
校地配置図.....	23
校内歴史散策.....	24
卒業生総数.....	26



▲100周年全景



▲110周年全景



岩見沢農業高等学校110周年に寄せて

北海道岩見沢農業高等学校長 畠 山 佳 幸

本校は明治40年(1907年)の春、空知農業学校として開校し、北海道開拓指導者の養成を目的に誕生しました。大きな社会変革の中で明治・大正・昭和・平成とそれぞれの時代で北海道の農業教育の役割を110年にわたり果たし続けてきました。豊かな国づくりの根幹は、土づくりと人づくりである。農業教育こそ深い知恵と心情を備えた人づくりに不可欠であると、かつて岩見沢の地に一粒の種がまかれました。種は芽吹き、先人の方々の熱意と努力によって一世紀を超える時をかけて大切に育てられ、この岩見沢の地に110年の深い根をはり、太い幹を備え、大きく枝葉を伸ばしてきました。今後も岩見沢農業高校は更に枝葉を伸ばし、役割を果たし続け、つぎの120年、130年と、これまでの伝統と校訓「至誠」をしっかりと継承しつつ、教育内容を常に見直し、さらなる農業教育充実のための基点校として、予測が難しく変化の激しい社会に対応し続け、新たな時代を構築する心豊かな人材を育てる学校であり続けてほしいと強く願っています。

初代校長、松澤辰三郎先生から数えて25代目の校長として、本年4月に着任し、まさに創立110年の風が爽やかに吹き抜ける岩見沢農業高等学校の校長に課せられた重責を痛感すると同時に、改めて新たな岩見沢農業高等学校の創造に、微力ながら精一杯尽力する事を決意しています。また、節目というべき平成29年度、110周年記念事業にかかわり持つことができたことは大変光栄であり、関係者の皆様にお礼申し上げます。

最後に、記念誌の発刊にあたっては、記念事業実行委員会や関係者の皆様にご尽力をいただきましたことに心より感謝を申し上げます。



母校創立110周年にあたって

創立110周年記念事業協賛会会長
北海道岩見沢農業高等学校同窓会会長

安 田 恭 一

本校創立110周年を迎えたことを、本校に縁のある各位ならびに全同窓生の皆様とともに喜びに耐えません。

創立以来の長い歴史と幾多の変遷を顧みるとき、誠に感慨無量のものがあります。歴代校長先生、教職員や関係者の皆様、先輩諸兄姉の方々に感謝いたします。

本校は明治40(1907)年春、札幌農学校が東北帝国大学農科大学へ昇格すると同時期に、本道開拓の急速な展開などに伴う指導者の養成に応えるため、「農科、獣医科」2学科、3年制をもって開校しました。

開校の経緯を顧みると、大変な曲折を経て明治38年秋、当時の岩見沢村に設置されることに決定されました。その後は高柳町長をはじめ多くの方々の物心両面にわたる多大な尽力とご努力に、改めて深甚なる敬意と感謝を捧げます。

こうして発足いたしました母校は幾多の変遷を経て、現在、農業科学科、畜産科学科、食品科学科、生活科学科、農業土木工学科、環境造園科、森林科学科の7学科、7間口、生徒数840人を擁する名実とともに本道を代表する農業高校になりました。卒業生は2万4000人になろうとしており、本道はもとより全国各地で校訓「至誠」を戴して活躍しております。

教育内容・方法については、我が国の農業の方向性を示した新しい食料・農業・農村基本計画を踏まえ、食料の生産から加工、流通までの一貫した学習と環境に関する学習を意欲的に展開しております。また、平成25年度から文部科学省指定スーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、意欲的に学習活動を展開しつつあり、その成果の大なんことを期待しているところであります。

一昨春秋、母校110周年を祝うため、学校、PTA、同窓会、農業クラブOB会の4者が相図り、北海道岩見沢農業高等学校110周年記念事業協賛会を組織して、記念式典、記念祝賀会の行事を催す準備をすすめてまいりました。この事業の推進に際しまして関係各位のご助言、ご協力に感謝申し上げます。

ここに110周年を迎え、国の内外とともに非常に難しい時代のに直面しております。時代がどう変わろうとも、食料の生産・確保、流通や環境造成・整備などへの要望はますます強くなっていくことでありましょう。このような大きな興望を担って、本校がますます発展されますように祈念いたします。



創立110周年を祝して

北海道岩見沢農業高等学校PTA会長 白 木 輝 彦

創立110周年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

明治40年に空知農学校として、第一歩を踏み出して以来、本校は北海道の開拓と本道の農業の指導・育成を目指し、北海道農業の教育をリードと地域と共に夢と活力溢れる人材育成を目指してきました。

時代の進展と共に「空農」から「岩農」へと変わり、校舎改築や学科設備に伴う施設の充実等の変遷をたどりながら、輝かしい校風を築いてこられました。

この間、2万3千名の及ぶ卒業生を世に送り、校訓「至誠」の精神をもとに、空知管内は元より、全道・全国・海外の各地において、大きな貢献され、わが国の農業を始めて、経済・文化など、多方面に渡り、貢献されており、本校の教育の強さと歴史の重さを感じます。

これもひとえに、歴代の校長先生を始めて、諸先生方教育に対する情熱と努力の賜物であり、さらに同窓会・PTA各位の本校に対するご理解とご協力の証と思います。

近年、わが国の農業を取り巻く環境は、国際的にTPP問題、農畜産物の輸入自由化、環境問題や国内的には、農業人口の減少、農業後継者不足、クリーン農業の推進、時代のニーズが多様化しております。

農業教育においても、国際的にグローバル化を求めており、厳しい変化に柔軟に対応できる担い手の育成が、強く望まれています。

北海道は、わが国最大の食糧基地として、期待される中、この空知穀倉地帯の中心「岩農」が新しい校舎・充実した施設設備、広大な緑に囲まれた素晴らしい環境の基、特色ある校風と伝統を引継ぎ、北海道を代表する農業高校として、本校への期待も極めて大きいものがあります。

生徒の皆さんには、多くの先輩が築いてこられた伝統を改めて確かめると共に、心身を鍛え、次代を担うふさわしい若者として、努力されますように期待しております。

終わりに当たりまして、創立110周年を契機に、先生、父母、地域が一層信頼関係構築し、より良い環境を作り、未来に向かって大きく飛躍することを祈念し、誌に送る言葉とします。



伝統を次の時代へ

北海道岩見沢農業高等学校生徒会長 水谷 亜斗夢

北海道岩見沢農業高等学校が創立110年を迎えることができ、たいへんうれしく思っています。

本校は110年という長い歴史の中で様々な伝統を作り上げてきました。私たちは、その110年のほんの一部ですが本校で色々なことを学ぶことができました。

本校には今まで約2万3千人以上の卒業生がいます。このたくさんの先輩たちは、本校を卒業して、社会に出て全国各地で活躍されています。先輩たちが活躍し、頑張っているように、私たちも先輩たちに負けないくらい頑張りたいと思っています。

こうした中、本校生徒会では先輩方が築き上げてきた事を生かしながら一生懸命活動してきました。学校祭、体育大会と色々な生徒会行事に役員一人ひとりが協力し合い、全校生徒の意見を取り入れながら準備をし、最高の思い出を作れればと取り組んでいます。

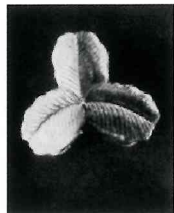
本校の校訓「至誠」は誠心誠意を尽くすという意味と、常に相手の心情を思いやると共に、礼儀をわきまえ、自分の良心に従って意欲的に行動する人間に成長して欲しいという願いが込められています。私たちは校訓である「至誠」のもと、お互いに協力し、助け合いみんなで頑張っていこうと思います。

多くの先輩方から学んだこと、今私たちが学んだこと、これから私たちが学んでいくこと、勉強だけが学ぶことではなく日常生活の中にも学ぶことがたくさんあると思います。私たちが受け継いだ伝統を次の時代へと繋いでいき、「岩農生」という誇りをもって今よりもより良い学校生活を送り卒業していきたいと思います。

校章変遷



明治40(1907)年
6月8日～



大正4(1915)年
5月12日～



大正7(1918)年
4月15日～



大正9(1920)年
5月1日～



昭和23(1948)年
5月31日～

沿革

明治40年 3月	北海道庁告示第111号をもって岩見沢町幌向原野442番地に校地を設定し、北海道庁立空知農業学校と称する	43年 4月	自営者養成農業高等学校となる
5月	岩見沢小学校の一部を借用、農科、獣医科各学科3か年制設置開校	45年 12月	北光寮再建
12月	校舎落成	52年 2月	北海道教育実践表彰を授与される
43年 5月	校歌を開校記念日に披露(出口豊泰(獣医科1期生)作詞、梁田 貞作曲)	54年 5月	果樹園造成
45年 5月	校訓「至誠」(東郷平八郎海軍大将揮毫)の篇額を披露	55年 3月	東山第2農場取得
		58年 4月	造園科を設置
大正 4年 4月	獣医科を畜産科に改称	59年 12月	造園科実習棟新設
5年 3月	本校演習林として月形村の189haを道庁より交付	60年 4月	林業科各学年1学級となる
9年 5月	林科3か年制設置	平成 2年 4月	生活科を生活科学科と改称
昭和 6年 4月	農科各学年2学級に増設	5年 3月	校舎改築工事(新校舎鉄筋コンクリート3階建土足利用可)完成
13年 1月	新校舎(鉄筋コンクリート3階建)完成	6年 3月	定時制課程農業科閉課
16年 4月	農業土木科3か年制設置	8年 7月	自成寮・北光寮改築工事完成
17年 4月	女子部家庭科2か年制設置、林科各学年3学級に増設、畜産科を獣医畜産科と改称	11年 3月	屋内体育館改築工事完成
18年 4月	農科を農業科、林科を林業科と改称	12年 11月	東山農場均平化工事
21年 4月	獣医畜産科を畜産科と改称	13年 4月	食品科学科を設置、農業科を農業科学科、畜産科を畜産科学科、農業土木科を農業土木工学科、造園科を環境造園科、林業科を森林科学科と改称
23年 3月	女子部家庭科を廃止	12月	微生物基礎実習室工事完成
4月	女子農業科を設置	14年 3月	資源循環バイオ実習室工事・学科転換施設改修工事完成
5月	北海道立空知農業高等学校と改称	15年 4月	学科転換完成、農業科学科各学年1学級となる
10月	定時制課程農業科夜間制4か年併設	17年 10月	飼料畑基盤整備
24年 4月	林業科各学年2学級となる	19年 7月	創立100周年記念式典
25年 3月	女子農業科を廃止	20年 2月	空知管内教育実践表彰を授与される
4月	北海道岩見沢農業高等学校と改称	22年 10月	第61回日本学校農業クラブ全国大会平成22年度北海道大会開催
28年 4月	女子農業科を農村家庭科と改称	24年 3月	畜舎棟改築工事完成
32年 9月	創立50周年記念式典	25年 4月	文部科学省 スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定
38年 4月	農村家庭科を生活科と改称、定時制課程昼間季節制となる	11月	畜舎棟移転完了
		28年 2月	校舎大規模改造工事完了

農業科学科

Agriculture Science

食用作物や園芸作物の栽培に関する知識と技術を習得させ、経営に必要な情報活用や経済活動を理解させるとともに、農業経営者としての能力と態度を育成する。



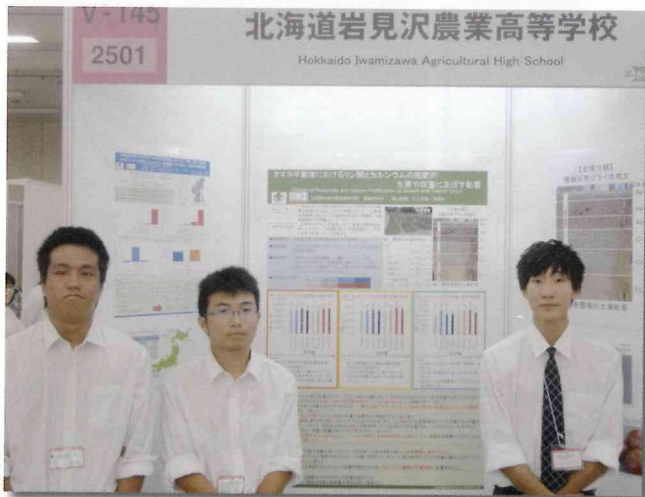
▲タマネギの定植



▲トマトの栽培管理



▲稲刈り



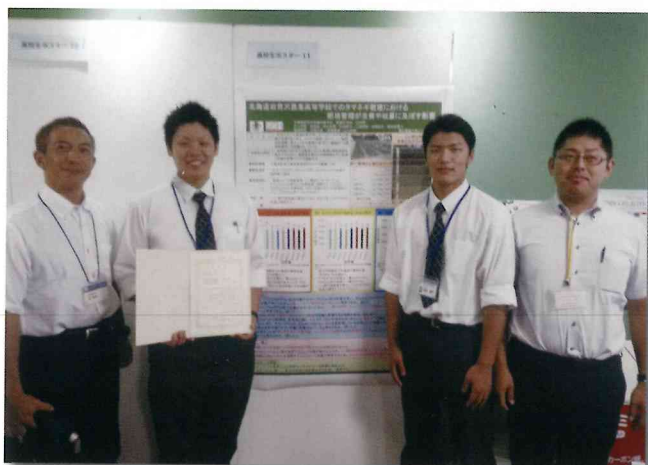
▲SSH 生徒研究発表会



▲帯広畜産大学 相内准教授を囲んで



▲全道実績発表大会 最優秀賞



▲土壌肥料学会では2年連続入賞



▲全道実績発表大会 優秀賞

畜産科学科

Zootechnical Science

動物の飼育管理に関する知識と技術を習得させ、環境科学や畜産物処理の基礎を理解させるとともに、畜産経営者や関連産業技術者、理解者としての能力と態度を育成する。



▲1年生、農業と環境 ジャガイモ収穫実習



▲SSH、酪農大学との連携



▲SSH、酪農大学との連携



▲1年生、ふ化実習



▲地域小学校との連携



▲生育調査実習



▲養豚班実習



▲養豚班実習



▲乳牛班、地域連携



▲SSH、ポスター発表会



▲SSH、講演会

食品科学科

Food Manufacture Science

農畜産物の生産学習、食品の加工、貯蔵、品質管理、衛生に関する知識と技術を習得させ、微生物の活用や食品科学の基礎を理解させるとともに、食品関連産業技術者としての能力と態度を育成する。



▲フランクフルトソーセージ製造実習



▲腸詰め実習



▲部会意見発表大会



▲除骨実習



▲チーズ製造実習



▲みそ仕込み実習



▲SSH 酪農大学との連携



▲1年生夏季実習



▲SSH 天使大学荒川教授による講演会

生活科学科

Agri Economics Science

草花の栽培とその活用及び、流通の諸活動、農業経営管理を通じて、6次産業化に対応できる産業人としての能力と態度を育成する。



▲札幌アリオでの販売会の様子です。生徒代表挨拶



▲バイオテクノロジー技術、インビトロフラワーの販売



▲▶生徒が生産した農畜産物は、成果発表も兼ねて、6月～10月、期間のおもに金曜日に校内「岩農ショップ」にて販売しています。



◀▼田植え体験 農業と環境の授業で毎年田植え体験を行っています。



▲モンゴルの住宅 ゲルで記念撮影



▲地元、岩見沢の「情熱米」のPRイベントに協力



▲技術支援したハウスで栽培したホウレンソウの収穫



▲生活科学科の生徒が札幌市の小学生田植え体験をサポート



▲▶春の花苗販売会「グリーンフェア」



農業土木工学科

Civil Engineering

安全な食糧を供給できる生産基盤の諸条件を整備し、地球環境にも配慮した緑豊かな農村を築くことのできる技術者を養成する。



▲農業基盤整備についての連携学習



▲ワークショップによるグループ学習



▲測定の基礎である距離測量実習



▲平板測量実習で導線法を学習



▲「農業と環境」で栽培について学習



▲雪の保存実習で自然エネルギーを学習



▲空知建設業協会様との連携学習



▲有明会様との連携学習の現場見学会

環境造園科

Environment Landscape

「環境造園科」では、「緑が持つ機能」を最大限に活かせる環境や生活空間をデザイン・施工できる力を身につけることを目標としています！



▲東山公園で測量実習



▲挿し木苗の定植



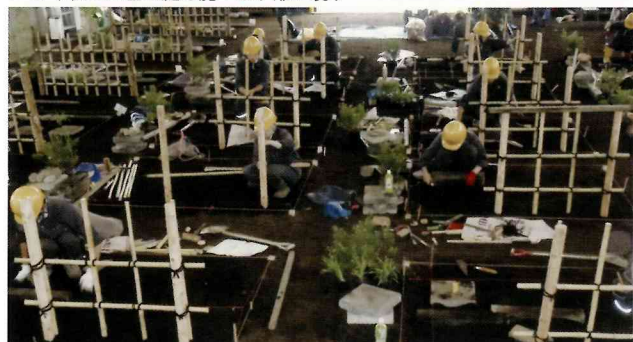
▲森林体験学習で森を知る



▲冬に備え、松の雪吊り実習



▲3年次に図面の庭を施工し、形に現す



▲3級造園技能士(実技)試験



▲プラタナス剪定実習



▲蹲踞、延べ段施工実習



▲卒業記念庭園施工実習

森林科学科

Forest Science

森林を中心とした自然環境保全、森林資源の育成と有効利用に関する知識と技術を理解・習得させ、健全な地域環境の創造と資源の循環利用に寄与できる人材としての能力と態度を育成する。



▲刈払機による下刈り実習



▲チェーンソーによる玉切り実習



▲演習林における植栽実習



▲簡易製材機による製材実習



▲シイタケ原木栽培用植菌実習



▲ポケットコンパスを用いたトラバース測量実習



▲高枝鋸を用いた枝打ち実習



▲冬季演習林実習における林分調査実習



▲冬季演習林実習における積雪層観察実習



▲工作イス制作実習

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)H25～H29



▲SSH 1・2期生（イングリッシュプロジェクト発表会を終えて）



▲課題研究を英語で発表（SSHイングリッシュプロジェクト発表会：本校）



▲課題研究ポスターセッション（SSH研究成果発表会：本校）



▲課題研究ポスター発表（SSH北海道サイエンスフェスティバル：北大）

Super Science Highschool



▲課題研究の成果を各種学会にて発表
(日本森林学会「ポスター発表優秀賞受賞」：鹿児島県)



▲ハワイ大学学生と課題研究におけるディスカッション
(SSH 米国ハワイ農業海外研修：ハワイ大学)



▲アクティブラーニング、ルーブリックによる評価等の教員研修会
(SSH教員研修会：本校)



▲「SS 課題研究」における帯広畜産大学との高大連携
(土壌断面調査：本校)



▲「SS 課題研究」における天使大学との高大連携
(乳成分測定：天使大学)



▲平成28年度 生徒会

対 面 式



▲3年農業科学科 学科紹介



▲3年農業土木学科 学科紹介



▲3年森林科学科 学科紹介



▲3年畜産科学科 学科紹介



▲3年生活科学科 学科紹介



▲3年食品科学科 学科紹介



▲3年造園科学科 学科紹介

体 育 祭



壮 行 会



▲選手宣誓

学 校 祭



▲Mr. Mrコンテスト



▲パフォーマンス



▲パフォーマンス



▲学級旗



▲フリーステージ



▲模擬店

意見発表会



技術競技大会



▲開会式



▲家畜審査競技



▲農業鑑定競技



▲農業情報処理競技



▲平板測量競技

実績発表大会



北海道学校農業クラブ連盟 マスコットキャラクター「ほっかいモー」とのコラボ企画



◀熊本地震 復興支援に対するお礼状として、くまもん来校

農業高校食彩フェアinアリオ札幌



▲オープニング



▲加工品コーナー



▲農産品コーナー



▲体験コーナー

部活動



▲野球部



▲男子バスケットボール部



◀女子バスケットボール部



▲男子バレーボール部



▲女子バレーボール部



◀男子バドミントン部



▲女子バドミントン部



▲卓球部



◀柔道部



◀剣道部



▲弓道部



▲サッカー部



◀陸上部



▲ソフトテニス部



▲ソフトボール部



▼吹奏楽部



◀写真部

▼茶道部



部活動



▲華道部



▲美術部



◀ボランティア・ユネスコ部



▲新聞局



▲図書局



▼水泳同好会

◀軽音楽同好会

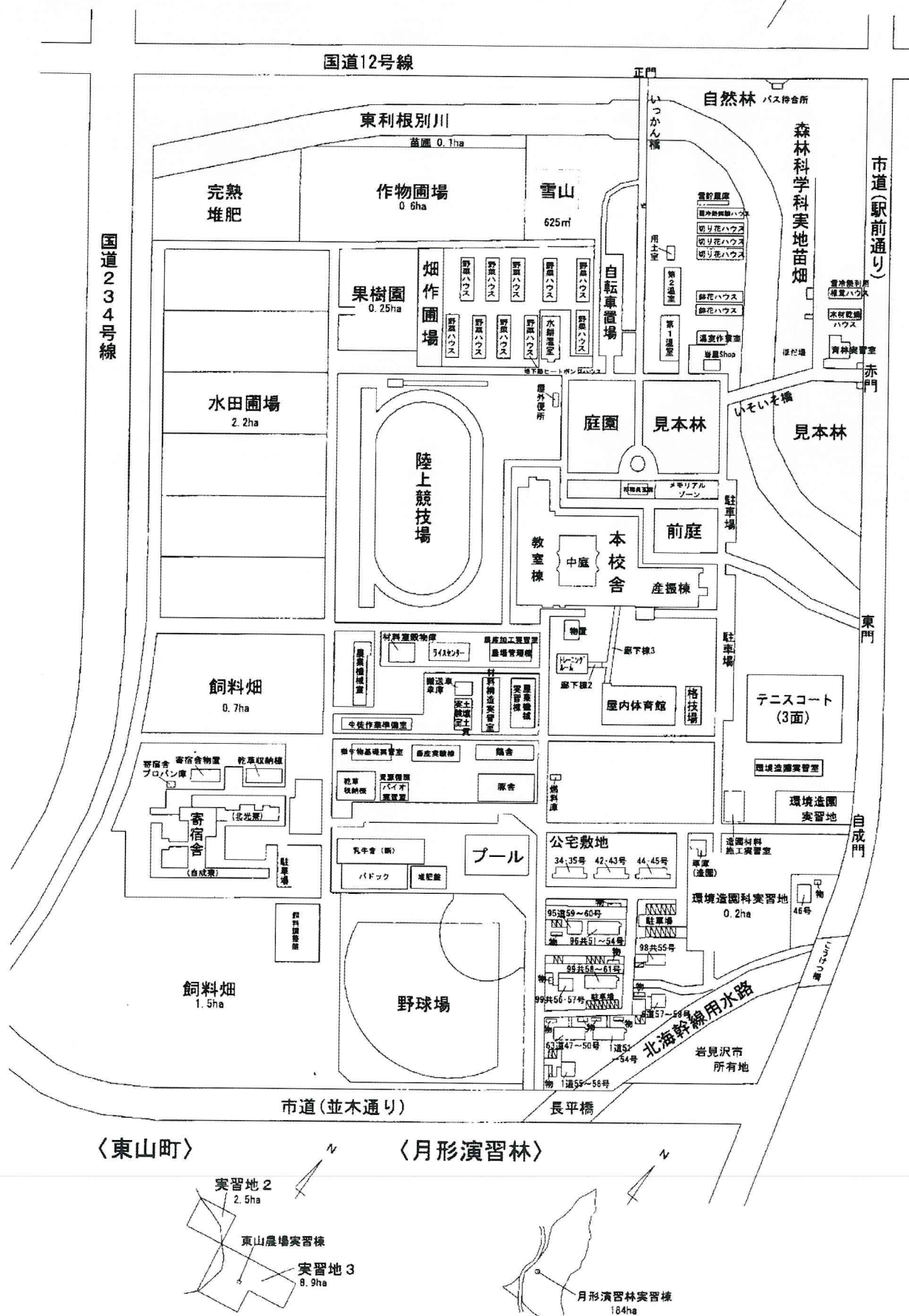
▼科学同好会



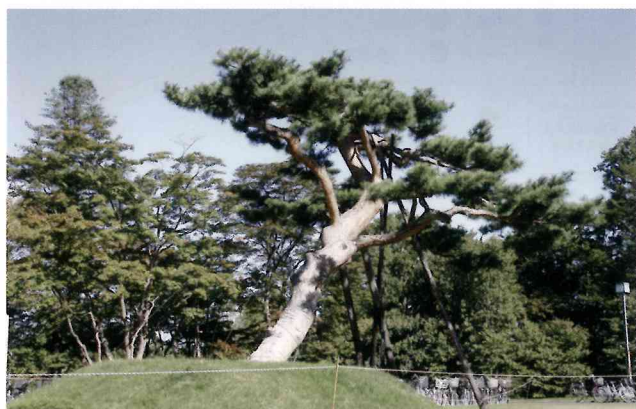
北海道岩見沢農業高等学校 配置図

〈並木町〉

〔1/3,000(A4) 並木町のみ〕



校内歴史散策





卒業生総数 **23,929** 名

平成29年3月1日現在

学 科	旧制農業高校	新制農業高校	新 旧 各 科 卒 業 生 総 数
農 業 科 学 科	1,902	4,738	6,640
畜 産 科 学 科	1,251	2,384	3,635
食 品 科 学 科	0	536	536
生 活 科 学 科	338	2,474	2,812
農業土木工学科	250	2,600	2,850
環 境 造 園 科	0	1,164	1,164
森 林 科 学 科	1,205	3,813	5,018
定 時 制 農 業 科	0	1,274	1,274
合 計	4,946	18,983	23,929

創立110周年記念誌

そらち野

発行日 平成29年6月25日
発行者 北海道岩見沢農業高等学校
創立110周年記念事業 協賛会
岩見沢市並木町1番地5
TEL(0126)22-0130
印 刷 空知印刷株式会社
岩見沢市2条東2丁目2-5